進路学習の一部抜粋

進学に必要なお金を知ろう

教育費

今回は進学費用を考える講座です。できれば保護者に自分で学費を調べてくることをおすすめ致します。文京区の公立大学（都内唯一）や専門学校の学費（都ホームページ等）を調べておくと実際に入学した時にスムーズです。また、学校を決めていない生徒は既製で高い学校ではなく、安い学校で選ぶ事ができます。生徒プリントでは必要最低限の金額を設定しています。予備金額を多めに考えてから一般的な金額を調査してください（特に私立大学は平均額で記載されています）大学に注意するのは大規模校のお金は入学段階に必要になるお金です。今回のプリントは、必ず、保護者に見せると思ってください。最低に、これだけのお金をかけるのだからそれに見合った努力と学校選択をするようにの呼びかけと意識向上。

必ずは、生徒プリントに記載してもらいます。

おそらく今まで生きてきた中で**一番の出費**となります。この出費は、卒業後に向けての**投資**となる重要のあるお金です。

しかし、現実的な問題として入試から**入学までの段階で 100 万円前後のお金**が必要となります。（卒業までに）**私立文系 400 万、私立理系で 500 万**、あくまでも目安です。国公立などは 1000 万程です。これは、各家庭において大きな負担であります。すぐに準備できるお金ではありません。基本的には保護者の方が準備するための経済合理、資料を配布していますが、皆さんも早い段階で保護者のかたに具体的な金額を示してお願いしておくことが必要です。

厳しいお話ですが**毎年、お金の準備ができなかったために進路変更もしくは進学を断念する生徒がいます。**

授学金等も含めて今回は、**「進学にかかる費用」**について考えてみましょう。

（実際には、塾、予備校、参考書代等必要となりますがお話は含めません）

1、入試にかかるお金

子様を記入

私立大学、短大、専門学校の入試にかかるお金はいくらでしょうか。

＊大学、短大　平均（◎ 35.000 円（　　））前後かかります。

＊専門学校　平均（◎ 20.000 円（　　））前後かかります。

＊共通テストは、（◎ 18.000 円（　　））です（成績開示 800 円を除く）

＊私立大学の共通テスト利用入試の場合は、

（◎ 20.000 円（　　））前後かかります。

（※）私立共通テスト利用入試＝共通テストを変数し、受験地域ごとに私立大共通テスト利用入試を処置する大学に出願すると共通テストの結果で合否が決定される。（＝共通テスト利用入試＝ではない）

共通テスト利用入試二次試験に合格することは困難）

入試にかかる総額

【1 35.000】×受験校数（平均 5 校）＝【◎175.000 円】

一般選抜受験校数　共通テストを受けた生徒は、これにそしてください。

＋（　18000 円）

高卒には、共通テスト利用の大学 20000×3 校＝60000 円程度上限あります。

2、初年度納入金は

いくらかかるでしょうか。

初年度、納入金とは、入学金、授業料、施設設備費等の諸費です。

但し、これには、**教材費、実習費等は含まれていません。**高校卒の大学、専門学校では、かなりの金額となります。

（例）

高卒で大学に進学した場合、入学金 25 万円は返還されません

私立大学大系　【◎1,120,000 円（　　）】前後かかります。

私立大学理系　【◎1,500,000 円（　　）】前後かかります。

国立大学　【◎820,000 円（　　）】前後かかります。

短期大学　【◎1,111,000 円（　　）】前後かかります。

専門学校　【◎850,000～1,800,000 円（　　）】前後かかります。

専門学校の場合実習費、施設費用は 1 校 1 万円前後、かかります。

（※）…国公立大学は学費が安いですが、就学に必要な場合は、私立より勉強になる場合があります。学費だけで学校を選ばないようにしましょう。

3、奨学金について

皆さんの多い悩みが授学金です。学校の多くの生徒（大学生の 3 人に一人、本校 120 人）が申し込んでいるのが国の支援による日本学生支援機構（独立行政法人）の授学金です。

注意すべき点が 2 つあります。

（1）入学時には、お金は受け取れません。高校 3 年時に申し込んで審査を経て、受け取れるのは、6 月以降になります。**（入学時のお金は別に準備準備が必要です）**

（2）あくまでも借金です。社会人としてスタートする時点で 250 万円前後の**借金**を持つことになります。第二種の場合は、利子も付きます。3 ヶ月以上延滞（返せない）と個人信用情報機関（ブラックリストみたいなもの）に登録されるなどのリスクを覚悟してください。（就職できないとピンチです）

第一種奨学金　月額【◎ 54,000 円（　　）】

第二種奨学金（利子あり）3 万円から 12 万円まで選択可能

＊別子のない第一種授学金を借りるためには、**高校の成績が 3.5 以上**あることが条件です。成績条件を満たさないときは、別予約をとります。

＊この他に**奨学金、自治体ごとに独自の授学金、民間ローン**があります。詳しくは担当先生に相談するか進路ガイダンス室の資料で確認しておこう。

＊学校によっては、納入金の分納（相談に応じてくれる学校や成績優秀な場合、授業料減額、また、2 部（夜間）や隔間授学生（学費を自分でくれますがかなりハード）という授業な学校が考えられます。早めに考えておくことが必要。

最後に記入した資料をもって記入。

自分の進路先（お金を調べてみよう）を調べてみよう

第一志望校（大学、短大）＊　大学　学部　学科

入学金　授業料　初年度納入金　入学時までに納める金

第二志望校（大学、短大）＊　大学　学部　学科

入学金　授業料　初年度納入金　入学時までに納める金

第一志望（専門学校）＊　専門学校　学科

入学金　初年度納入金

第二志望（専門学校）＊　専門学校

入学金　初年度納入金

＊保護者の方と相談してみてください。

私の学校も資料にチェックしては教えよう！

東京の学校に限定してあります。他県の場合は東京の学校に置き換えて記入。

学部学科研究①

改訂用 2022

教科の選択とオープンキャンパス説明会に向けて学部学科の絞り込みを行います。現時点で自分が進む方向を大学、専門学校の学部学科選択につなげるための時間です。

使用教材

進路探求ワーク 2、ムック 2

配布使用教材

①逆引き大学辞典　（大学）

②ＶｏＬａｒｅ（専門）②将来を目指してＶｏ１１（大学）③ルートフューチャー（大学）

③東京都専門学校図鑑（学校については、参照しないこと、あまりお勧め出ない学校も含まれます。専門学校は担任の進路部に相談すること）　【四谷学院　学部学科がわかる本（大学、専門）も参照に】

今回は、学部学科研究　を行います。今後も継続して行っていきます。【学部学科研究は 3 回計画です。今回の研究（1、2 回）と 3 回目に行う「入試科目を調べてみよう」がセットになっています】

疑問に感じた点を**自ら調べる**ように求めて下さい。

進路は選ぶから与えられるものではなく自分からつかみ取りにいく意識を育てたいと思います。

今回のものは、2 時間の時間設定で行います。時間配分を考える必要はありますが

Ⅰ、最低限、大学学部学科研究記入用紙　専門学校研究記入用紙

就職公務員研究記入用紙に具体的な内容を書き込めることが目標です。

今回の部分が決まっていなければ**次の教科選択ができない**ことも最初に伝えて下さい。**全、決まっていることを確認し、気持ちを固める、もしくは、修正するためにオープンキャンパスや資料請求、面談を行っています。そのベースになるものと捉えさせて下さい。**

＊学部学科解説はムック 2 に詳細があります

逆引き大学辞典は、大学調べ学習には**お勧めの一冊**です。（分野別の大学が検索可）

栄冠を目指しては、大まかに学校を検索するには便利です。

ＶｏＬａｒｅは、専門学校希望者には、ベースとなる大切な資料です。**東京都専門学校図鑑Ⅱ、★記入用紙が完成、もしくは記入用紙作成の補助として進路探求ワーク 2 を活用する。**

1、進路探求ワーク 2 は、ある程度、学部系統が意識されている人、全く決まっていない人によって　取り組むページが異なります。生徒用プリントには、大学、専門、就職それぞれに指示してあります。

（多くの生徒は、ある程度、絞れていると思います）

一方で決まっている生徒であっても「理解しているつもり」の生徒もいます。時間があればできる限り「進路探求ワーク 2」に取り組ませてください。学校の時間だけでできない部分も多くあります。また、進路探求ワーク 2 で指示されたネット検索では、より詳細な資料や動画が視聴できます。家庭においても調べを継続させ、担任が最終的に**各研究記入用紙を確認**することで各生徒の進行状況を確認してください。（スタサポや前回行った評定計算資料も含めて面談が入ると効果的です）

★大学、学部学科研究記入用紙　★専門学校研究記入用紙を完成させる。

時間内では絶対ですが用紙の完成させて、提出させると面談などでも活用できます。期限を決めて提出させつにーをとって認知するような学級も可能です。（一度、提出がないと生徒は調べ今やめてしまいます）

下記の内容は、導入の解説に活用して下さい。

特にカタカナ名の学科など名前では理解できないものもあります。注意が必要です。

例→**リベラルアーツ学科**（何でもあり・・・いろいろなことが学べる？）

インテリジェントシステム学科→（近いいコンピュータの初学年目標を立てられる人材を育みますサー大学の説明から）

★大学希望者

●こんな落とし穴に注意

【①】**如たような学部学科でも学べる内容は異なる場合がある**

？コンピュータについて学びたい・・・情報系？

社会情報学科に合格→

学ぶのは、（IT 時代の経営戦略）（統計データの分析）手法・・・・

あれ～？プログラミングは勉強しないの・・・・？

★情報系の学科

例えば**次系**では、**総合情報学科、社会システム学科、社会システム情報学科、情報社会科学科。理系**では、**基礎情報システム学科、システム数理学科、情報通信工学科、情報理工学科、情報テクノロジー学科、電気電子情報工学科、情報メディア工学科、知的情報システム学科、情報ネットワーク学科、情報ネットワーク工学科**と情報系だけでも多様な名称、内容があります。

★専門学校

●注意すべき点

専門学校は、資料に危険校も含まれています。

担任の先生には、**１部お勧めの専門学校をお渡しします。**

相談に来た生徒には、勧めておけて下さい。そこに記載されていない学校を生徒が持って来た場合、お勧めの学校を示すと同時に生徒が持ってきた学校については、**進路部で確認するように伝えて下さい。**（専門学校参照研修で配布された資料は、教室には持参しないで下さい。）

分野で調べるのではなくピンポイントで良い学校を調べるようにさせて下さい。

専門学校は、仕事に直結します。卒業後の仕事が明確でない人は避けるべきです。

生徒プリントにもこの部分は記載していますが担任の先生からも専門学校に進む上での意識については、最初に話していただけると助かります。

★低い成績で入れる学校は心配な学校もあります。金銭的な点で専門を選ぶ生徒もいます。専門学校希望者は、前後で個々に相談する必要があります。進路部へ相談に行くようアドバイスをお願い致します。就職も同様に進路部担当まで相談するように勧めてください。

自分のことをもっと知ろう

現況調査　①自己理解

評定平均で自分を知ろう

「あなたの評定平均値はどのくらいですか」

1 年生の成績はどうでしたか。**5 段階の評定は、君たちが**

今後の進路にチェンジする際の大切な支えとなります。（高校と高校とをつて際の役になります）

推薦の際には、基準に達していないと**出願ができません。**（基準は、出願が認められる数値です。

合格ラインではありません。点数化されるのでかしても高い方が有利となります）。大学の一般選抜では、ボーダーライン付近に多くの人が並んでいます。同点となった場合、評定で合否を分ける大学もあります。

（1 点でも点数で上回れればいいですが！）

別紙を利用して自分の評定平均値を計算してみてください。　記入　**評定段階**

色の濃くなっているところが 1 年生で履修した教科です。

★計算ができた人は、自分が**A～E のどの段階**にあるか確認してください。

別紙　**1 年の評定平均値に 2 年生において現在、学習している教科の目標値を入れて計算しましょう。**

2 年の教科も色が濃くなっています。見本は、総合クラスのものです）

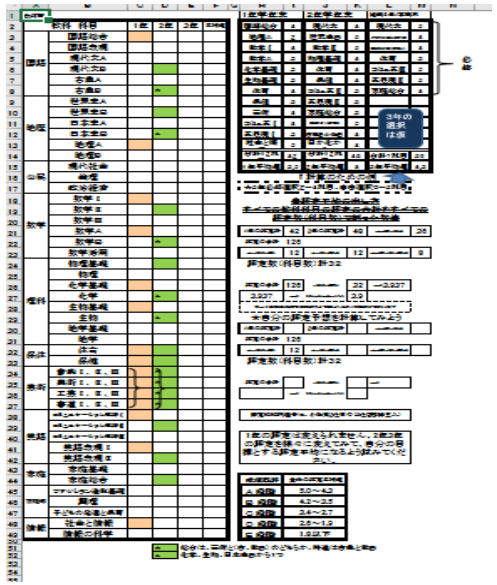
3 年（推薦は、1 学期、一般は、2 学期まで）でどれくらいの評定をとることが必要かも計算してみよう。

★3 年では、履修科目が減ります。**1、2 年生の成績で 1 割以上の評定が決まってきます。今から がんばりましょう。**

★参考　以下の基準を超えると推薦資格を失います

現定段階度　欠席 10 日未満　欠遅早計 30 回未満　公容推薦　欠席 16 日未満　欠遅早計 60 回未満

本時のメインは、評定計算で自分の位置と目標を設定することです。最低限、この課題は、完成させて下さい。



学部学科研究Ⅱ

入試科目を調べてみよう

現在、**学部学科研究**を行っています。今回は、**入試科目の確認**という視点から入ります。受験形態の研究は、再度、2 学期後半にも入試計画の作成前（3 年 0 学期に入ってから）に行います。今回は、3 年の選択教科の決定を行う前に入試科目を確認し、ミスのない選択へ導きたいと思います。

ポイント

①入試科目配点表の見方を確認しますが、**狙いは、各大学、短大、専門学校の公式案内で入試科目を確認することの重要性**を理解させることです。

入試科目配点表は、あくまでも一覧で細部は、**公式のものが正確かつ見やすく丁寧な表記**となっています。一覧の利点は多くの学校の入試科目を一冊で比較できる点。ここでターゲットを絞って**最終的には公式な案内で確認**する。**生徒にこのパターンを理解させてください。**

②**入試は、基本形を大事にする**こと

入試科目の確認を行っていると**2 科目受験や古文、漢文なし、得意科目の傾斜配点、　全学統一入試**など受験生が飛びつきそうな方法がすぐ目に入ってきますが、多くは、**受験科集めのもの**で合格に結びつくものではないこと、また、今回、受験教科の絞り込みを行いますが、一方で**古文漢文などの受験教科を減らすと上位校で受験できる大学の選択肢が狭まる点**を理解させることも必要です。**選択教科の決定は、受験教科を決めることから始まり＝受験勉強のスタート**です。

＊**私学 3 教科受験【文系の英国**（古典含む）**地歴**公数（日Ｂ世Ｂ政経、数Ⅰが基本）、**理系の英数理**（発展）**】**が募集人数＝合格者数も多く受験の基本形であること、

＊**国公立志望**の生徒は**理社のパターン**と同時に現時点で**2 段階選抜の比重と 2 次**（個別学力検査）**の科目**を今回確認すること

③**専門学校**の生徒は、推薦が多くなりますが**入学後、必要となる教科**を選択することに力点を置かせてください。（一般を考える場合は当然、受験教科）**栄養系の化学、自動車系の数学、物理、医療系の理系科目など入学後のカリキュラムを確認**したうえで選択教科を決めるようにご指導ください。

古文漢文リスニングの有無などを記入

大系 の生徒は青山学院大学　**経済 3 教科型**でチャレンジ

教科（科目）	国語	B 本史 B	英語（外国語）	教科、科目数
必、選：	必：	必選：	必：	
配点：	２００点	１００点	２５０点	総合計点　５５０点
備考：	古漢含む	地歴公民から高得点１科目を使用	リスニング含む	

★**理系 の生徒**は、青山学院大学　**理工総合創造工学科**　型　でチャレンジ

教科（科目）	数学	物理（物化から 1）	英語（外国語）	教科、科目数
必、選：	必：	必選：	必：	
配点：	２００点	２００点	２００点	総合計点　６００点
備考：	数Ⅰ、Ａ、Ⅱ、Ｂ	１００点満点を２００点に換算	リスニング含む（２５０点満点を２００点に換算）	

上記表は、途中で担任が板書か読み上げて確認させてください。

どちらも大学の案内、HP 等で確認しないと細部が確認できません。

ここから一覧だけでなく必ず、学校の公式なもので確認することの大切さを伝えてください。

★途中、作業で**進路探求ムック 2 を使い**、調べながら記入する箇所があります。

★早く進んだ生徒から**進路探求ワーク 2 のＰ37 までの内容**を進めるように伝えてください。（**基本は、ゆっくりプリントの重要箇所をチェックしながら時間をかけて進めることが大切です**）

★3 年の夏は、「指定校のオープンキャンパス必須参加」があります。それ以外は、勉強に専念します。2 年の夏にオープンキャンパスに行き、進路の方向性を定める材料を得ることの必要性を示唆してください。

仮受験校を決めよう

1年後、もしくは、推薦の場合、数ヶ月後、君たちは受験に直面します。(就職、公務員も同じ)

今回は、1年後(数ヶ月後)の受験を想定して**仮受験校を決め**るのために何をすればよいか考えてみましょう。今回、決めた受験校を受験日程表に組み入れていきます。真剣に仮受験校を検討してください。

① 入試、就職について知ろう【確認作業】

自学資料集第(別プリント37P)①～⑤をつけてみよう。(1ヶ月)

いかがでしたか。全問正解でしたか。進路選択は、一つの間違いも大きな失敗につながります。厳しい部分は、自分で調べてみましょう。

★いい!!本日の本題です。

②進路先を絞り込もう【仮受験校決定】

既に学部学科研究と並行して対象とする大学様大専門学校を選んで参考にした、模擬試験一覧表に3種類(挑戦校、相応校、確保校)に分けて記入しましょう。

模擬試験の成績はここにある必要はありません。(既に資料請求も行っていますよね!)

すべて書けない生徒は、ちなみに、書いてみましょう

(1) 大学の生徒は、まず、**自己分析評価**、P87の模試結果表で自分の偏差値を基礎(法学部、理学部、看護等)のページを探し、学科のある大学を探してください。

(2) 上記(1)でピックアップした学校を**何度もご参照**して資料や募集要項等を入手し各大学のお目当ての学科を決めていく。(まだ、資料請求していない生徒は、ほかほかで資料請求をしてください。)自分の考えと一致しているか書いてみましょう。

(3) 専門学校の生徒ですが、記載校を決めていない生徒さん(模擬形式で**「Colare専門」**参照)**専門学校用**を参照し学校選択、早急に進路部で確認のようう確認してください。

(4) 学習塾等に通っている生徒さんは、**担当講師にアドバイスをもらう**ように。(相談してください。

各校名学科順では、P4大学専門ジャンル別マップ」で興味のあるものをチェックーチェックしそれぞれの P 7～の「学問ディスカバリー」で各分野の概観を理解し絞り込み作業を行ってください。

＊ランキングは、設定に関係しているランキング表を参考にすること

★進研(ベネッセ)は、教室掲示

挑戦校2校、相応校3校、確保校3校計8校を決めてみましょう。

- **挑戦校** 第一志望の学校、現段階ではあこがれている大学、専門学校
- **相応校** 自分の実力ラインとほぼ同等レベルの学校 (模試の判定では、B、C判定が出ている)
- **確保校** 安心して挑戦校、相応校を受験するための大学、専門学校、

模試では A判定、A に近い B判定以上、入学する確率のある大学。

★これが将来の基準ですが現実には、まず、**ほとんどの学校が E 判定(厳しい判定)**になります。

挑戦校を基準として少しずつ偏差値等を下げて学校を選択してください。**確保校が厳しい判定でも構いませんが１つは、合格の可能性のある学校を入れておく**ようにしましょう。

仮受験校一覧表(次回、日程表を作成します)専門は挑戦校1、2までで良い。

	大学、短大、専門	学部	学科(コース)
挑戦校1			
受験教科→			
挑戦校2			
受験教科→			
相応校1			
受験教科→			
相応校2			
受験教科→			
相応校3			
受験教科→			
確保校1			
受験教科→			
確保校2			
受験教科→			
確保校3			
受験教科→			

指定校推薦を考えている生徒は、**進路の手引き**を参考に**推薦基準**を確認すること、但し、**指定校は、未確定のものです。毎年、指定校対象校は変わります。**

４９期生の指定校にはならない学校は、当然あり、評定等の学校毎の基準も変化します。進学の手段として指定校推薦は、補助的なものと考え、**一般版を想定**しておきましょう。

提出します。 2年 組 番 名前

受験計画表を作ろう(仮)

1年後の入試まで限られた時間は長くはありません。

来年の今頃には、これから作る受験計画表(仮)の本物をもとに願書を記入していることでしょう。

今回は、**3年生が使用している受験日程一覧**を利用して、**仮の「受験計画表」を作成**してみましょう。それぞれの**大学、専門、公務員の受験日程は、毎年、大きく変わることはありません。本番を想定しながら現実的な日程**を立案してください。

大学総合型選抜、学校推薦型選抜の日程は変わります。一般選抜は2月からです。

立案をミスすると**何十万**ものお金を**ムダ**に払うことになります

★大学、短大

1年生の一般入試に向けて受験計画表を作ってみよう。別紙プリント参照。

★就職、公務員の人

自分のよっていない時期に公開書は、受験日から逆算まで順番の日付を入れて完成させよう。

公務員、就職は、進路の手引き P55～61 を参考にしてください。 公開募集書等は一覧ありません。担任の先生に申告してください。

★専門学校

自分の入っていない時期に推薦入試前後(総合型選抜)の日程と一般入試前後の日程に分けて日付を入れてから記入しましょう。学校数は少なくても締切です。(例 9月と11月に分けて記入)

専門学校は、**就職専門学校**等(学習塾や通信制高校の進路先)の入試日程に関して(担任の先生が最重要)

【専門学校は、総合型選抜になっても「入試」という名称を用いず競争の日程で総合型選抜を行う学園等もあり学校ごとに大きく やり方が異なると考えられます。

専門学校ごとに入試日程を調べて予定を立ててください。】

大学、短大一般入試用解説

① **裏面のモデル**を参考にして記入してください。

② **「記入上の注意」**が表、裏それぞれ右上に記載されています。

③ **模試の判定**は、１１月模試の模試結果をもとにわかっている範囲で記入してみましょう

④ **試験日程は、配布されたプリント**で確認してください。

★定期考査と違い入試は、気力体力ともに消耗します。計画的な立案を！

範囲も定期考査とは、桁違いです。

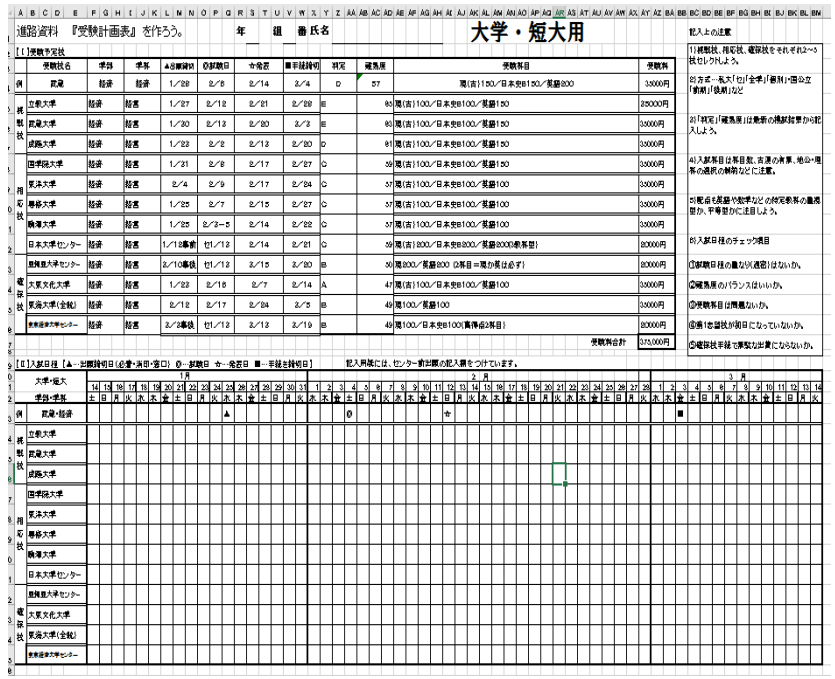
本日返却予定

大学受験

公務員用

★公務員志望の表現に疑問と公務員警視庁を設けました。その前後の日程を入れましょう。参考にしてください)

最後に1年間で志望までにどれだけの学習ができるかを今回の計画から現実として、勉強を進めてください。次回、実際の年間計画を作成します。



進路資料 『受験計画表』を作ろう。 年 組 番 氏名

大学・短大用

記入上の注意

1) 模試校、相応校、確保校をそれぞれ2～3校セレクトしよう

2) 方式…私大「①」「全学」「個別」「国公立「前期」「後期」など

3) 「判定」「確率」は最新の模試結果から記入しよう。

4) 入試科目は各目数、言語の有無、地歴・理科の選択の制約などに注意。

5) 配点も記入しよう。数学などの特定教科の重視型か、平等型かに注目しよう。

6) 入試日程のチェック項目

①試験日程の重なり(厳密)はないか。

②確率用のバランスはいいか。

③受験科目は問題ないか。

④第1志望校が同日にないでないか。

⑤確保校を絞り込んでいないか。

【○】入試日程 【▲…出願締切日(必着・消印・窓口) ◎…試験日 ■…手続き締切日】 記入用紙には、センター前出願の記入欄をつけています。

逆算して計画を立てよう 「立教大学と＋５校に入るための必勝計画」

2年9組
キヨセ タロウ

	学校行事等	進路の流れ 専門、就職	進路の流れ 大学、短大	自分の計画	進路計画＋模試	勉強計画	目標	気持ち	備考
4月	進路オリエンテーション 学校別ガイダンス 総合選抜、学校推薦型選抜入試説明会	個別相談		基礎固め 英、国中心に 選択のない日の勉強ベースアップ	1年間の計画を再確認	赤本で問題分析 英国中心に 基礎固め 今までの全単語、熟語、文法総復習	部活動をやっていることを「勉強の遅れ」の言い訳にしない	部活動を続けるので「隙間時間」活用して遅れを最小限にする	
5月	進路説明会【外部】 部活動インハイ予選		個別相談	部活動のインハイ 予選支部大会	ベネッセ記述模試	英文法と古文の遅れを取り戻す			
				弱点補強最終	定期考査対応				
6月	模擬試験 部活動インハイ予選	総合選抜開始		都大会 部活後の勉強中心モード	面談で方向性確認作業	6月模試に向け 世界史総復習 「山川書き込み教科書を3回行う			
7月	共通テスト入試説明会 模擬試験 指定校推薦説明会	1日求人開始 職場見学 企業説明会	選抜要項発表		進研模試 定期考査対応 進研模試		部活なしの勉強生活ベースを確立する	「時間は、チカラ」時間との戦いに負けないぞ！	
						模試対策「山川書き込み教科書再確認			
8月	オープンキャンパス推奨 OC指定校必須		推薦募集要項発表			7月模試振り返り 総復習			
				推薦の場合は、小論、面接対策	志望校絞り込み オープンキャンパスへ	英語長文演習に力点 (上位大学対策)			
9月	第一回指定校推薦申し込み 第一回指定校推薦選考 共通テスト入試出願票締切	応募書類提出 総合選抜願書提出 16日就職試験開始 地方公務員1次 警視庁一次	募集要項発表 総合選抜願書提出	文化祭	3者面談 9月駿台ベネッセ	模試対策	9月模試で第二志望B、第一志望とる	夏を制する	
						9月模試振り返り			
				志望校3校の赤本購入		問題演習			
10月	大学入試直前ガイダンス 指定校推薦候補者説明会	学校推薦型選抜 地方公務員2次			10月駿台ベネッセ 定期考査対応	模試対策	世界史では負けない。ドッキング模試でB判定をとる	文化祭を言い訳にしない。初志貫徹妥協せずに勝利を引き寄せる	インフルエンザ予防接種
						基礎からの最終確認			
						弱点克服対策 模試対策			
11月	大学入試説明会 一般選抜説明会	願書受付開始 一般選抜	学校推薦型選抜		11月駿台ベネッセ	過去の模試見直し			
					一般入試受験計画提出	志望校別の傾向に合わせた学習へシフト			
				受験計画作成 入試要項入手 受験費用準備確認					お金のことを再確認
12月	共通テスト入試説明会 一般用調査書一括請求		学校推薦型選抜合格発表 推薦型入学手続き		定期考査対応 駿台共通テスト直前模試	受験時間に合わせた勉強時間と健康管理で本番の臨む	第一志望校を母校にする	努力と己を信じていざ決戦	
1月	共通テスト利用私大出願 共通テスト入試(13．14日)		願書受付開始 共通テスト	願書提出 15日共通テストリサーチ	河合塾Kパック 共通テスト入試				
2月	私大入試本格化 国公立2次(個別学力検査等)		一般選抜	共通テストを受け志望校計画再考	私大入試				
3月	卒業				合格発表				

進路宣言

印を受けて個人保管します。コピーを担任が預かります。変更した際には、再度、提出をすること

年 月 日 提出

2年 9組
3年 9組

氏名 清瀬 太郎

	志望順位		入試形態	現在の判定	偏差値
志望校 学部 学科	第一志望	立教大学文学部 文学科	一般選抜 指定校推薦 総合選抜 公募推薦	E(一番近い模試での判定)	68(ベネッセの偏差値を記入)
	第二志望	法政大学 文学部 文学科	一般選抜 指定校推薦 総合選抜 公募推薦	E	68
	第三志望	成蹊大学 文学部 文学科	一般選抜 指定校推薦 総合選抜 公募推薦	D	66
	第四志望	東洋大学 文学部 文学科	一般選抜 指定校推薦 総合選抜 公募推薦	C	62
	第五志望	駒澤大学 文学部 文学科	一般選抜 指定校推薦 総合選抜 公募推薦	C	61

専門は 2校までで構いません

受験科目	教科	国語	数学	英語	理科	地歴公民	実技他
	科目	現代文 古文漢文		英語		世界史B	

第一志望校の宣誓

以下の通り、第一志望校を決定致しましたので、ここに宣誓します。

第一志望校	学部 学科 コース
立教大学	文学部 文学科

上記、進路宣言及び第一志望の宣誓に保護者として同意致します

保護者氏名 清瀬 花子 印

清瀬